

実践で使いたい!

Excel

便利

テクニック



最終回

エラー表示が出たときの 原因と修正方法

仕事で毎日使うExcelには、あまり知られていない機能がたくさんあります。この連載では、経理業務や人事業務で使える便利テクニックを紹介します。

テクニカルライター 岡田 泰子

「#REF!」と
表示されたら

「#REF!」というエラーが

エクセルでは、行やセル、入力されていた数値を削除しただけに、「#REF!」や「#DIV/0!」のようなエラーが表示されることがあります。このような、数式に関連したエラー表示の原因と修正方法を解説します。

- 表示される主な原因は、数式で参照しているセルがある行や列を削除したことにあります。
- エラーが表示されたセルを選択して、どのセルが削除されたかを調べてから削除を取り消したり、数式を修正するとエラーを解消できます。
- ① 「#REF!」と表示されたセル（B4）を選択する（画面1）
 - ② 数式バーを確認する

- ③ 「B2」と「B3」の間に、数式で参照するセルがあったことがわかる
 - ④ 直前に行を削除していた場合は「Ctrl」キー＋「Z」キー（操作を元に戻すショートカット）を押す
 - ⑤ 数式で参照するセル（行）が元に戻る（画面2）
 - ⑥ 計算結果が表示される
- 行の削除が直前でない場合は、数式の「#REF!」を選択して

から数値のセルをクリックし、「Enter」キーを押して数式をつくり直す方法も有効です。列を削除して「#REF!」と表示されたときも、同じように操作してください。

「#DIV/0!」と表示されたら

「#DIV/0!」は、割り算の割る数（分母）として空白のセルや「0」と入力されたセルを参

画面1

	A	B	C	D	E
1		金額			
2	A 商品	50,000			
3	C 商品	78,000			
4	合	#REF!			
5					
6					

画面2

	A	B	C	D	E
1		金額			
2	A 商品	50,000			
3	B 商品	40,000			
4	C 商品	78,000			
5	合計	168,000			
6					

画面4

	A	B	C	D
1		金額	比率	
2	A 商品	50,000	#DIV/0!	
3	B 商品	40,000		
4	C 商品	78,000		
5	合計	=B2+B3+B4		
6				

④ [Enter]

画面5

	A	B	C	D
1		金額	比率	
2	A 商品	50,000	0.298	
3	B 商品	40,000		
4	C 商品	78,000		
5	合計	168,000		
6				

画面6

	A	B	C	D
1		金額	比率	
2	A 商品	50,000	#VALUE!	
3	B 商品	40,000		
4	C 商品	78,000		
5	合計	168,000		
6				

画面7

	A	B	C	D
1		金額	比率	
2	A 商品	50,000	=B2/B5	
3	B 商品	40,000		
4	C 商品	78,000		
5	合計	168,000		
6				

④ [Enter]

画面8

	A	B	C	D
1		金額	比率	
2	A 商品	50,000	0.298	
3	B 商品	40,000		
4	C 商品	78,000		
5	合計	168,000		
6				

画面3

	A	B	C	D
1		金額	比率	
2	A 商品	50,000	#DIV/0!	
3	B 商品	40,000		
4	C 商品	78,000		
5	合計			
6				

- 照していたり、割る数として使われているセルの数値を削除した際に表示されるエラーです。
- 分母を「0」以外にしたり、空白のセルに数値を入力したりすれば解消できます。
- ① 「#DIV/0!」と表示されたセル（C2）を選択する（画面3）
- ② 数式バーを確認すると、空白のセル（B5）が分母になっていることがわかる
- ③ B5セルに金額の合計を求める数式を入力する（画面4）
- ④ 「Enter」キーを押す

- ⑤ 金額の合計がB5セルに表示される（画面5）
- ⑥ エラーが表示されていたC2セルに正しい計算結果が表示される
- 「#VALUE!」と表示されたら
- 「#VALUE!」というエラーが表示される主な原因は、数式で数値以外のデータが入ったセルを参照していることにあります。数値が入ったセルを選択したり、セルの文字を数値に変えたりすれば解消できます。

- ① 「#VALUE!」と表示されたセル（C2）を選択する（画面6）
- ② 数式バーを確認すると、割り算の割る数（分母）として、「合計」の文字が入っているA5のセルを参照していることが確認できる
- ③ 割る数として、合計の数値が入ったセル（B5）を参照するように変更する（画面7）
- ④ 「Enter」キーを押す
- ⑤ エラーが表示されていたC2セルに、正しい計算結果が表示される（画面8）（了）